



# 「世界一環境先進大学三重大学」のCO2削減 ～ カーボンフリー大学 ～

## 削減目標

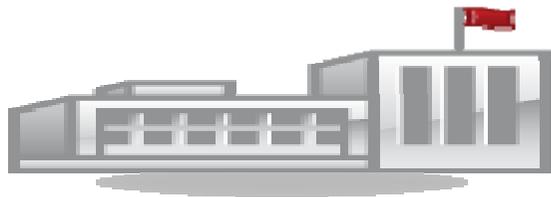
世界一の「環境先進大学」を目指して積極的にリーダーシップを発揮していくことが三重大学の社会的責任(USR)である。

削減目標は高い数値目標とし、全学で取り組む姿勢が必要。



### 政府

- ・2020年までに1990年比
- ・CO<sub>2</sub>を25%削減



### 三重大学

- ・2020年までに1990年比
- ・CO<sub>2</sub>を30%削減



# CO2削減量;2020年までに1990年比30.7%削減

設備改善 19.3%	病院再開発 10.3%	件名	削減寄与率
		エネルギーセンター	8.8%
		病棟・診療棟(Ⅰ期)	1.0%
		外来・診療棟(Ⅱ期)	0.5%
	機器の更新 9.0%	件名	削減寄与率
		平成21年度改修工事	0.4%
		井水導入に伴う省エネ機器更新	0.3%
		省エネルギー対策経費による機器更新	1.0%
ボイラーの廃止(生物資源学部校舎)		0.9%	
	空調設備・照明設備を全て更新した場合	6.4%	
学内運用改善 14.0%	省エネ活動を実施		削減寄与率 14.0%
学外運用改善 3.2%	家庭での運用改善によるCO <sub>2</sub> オフセット		3.2%
基準年1990年(H2)以降の努力による削減(1990年から2008年まで) -5.8%			

# 携帯ポイントシステム(MIEU Point)

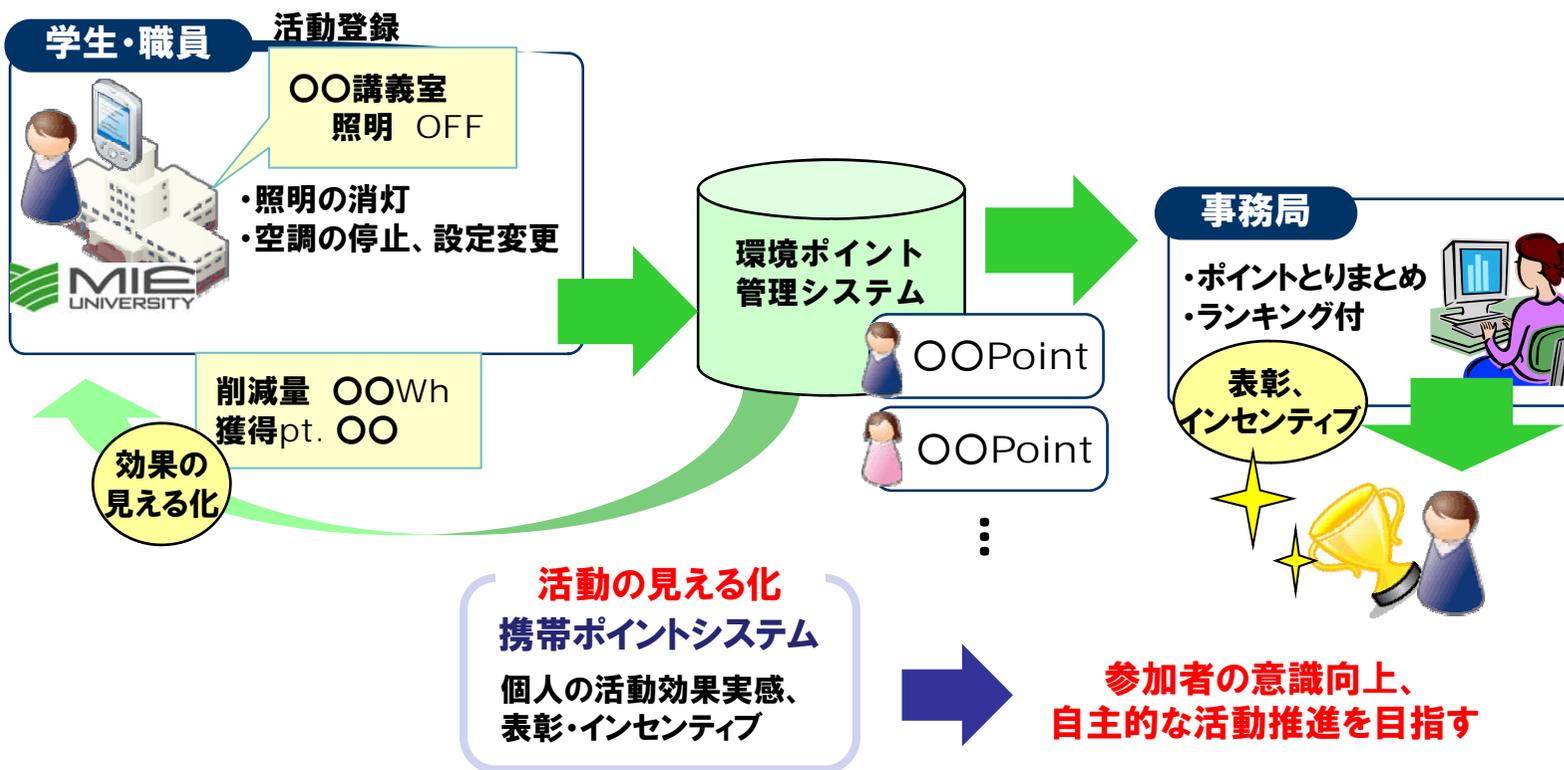
目的

個人の行動履歴を管理することで、曖昧になりがちな「個人の努力」を「見える化」し、かつその行動に対してインセンティブを与えることで、活動への興味と積極性を促すことを目的とする

運用概要

学内で実施した環境・省エネ活動を、携帯電話より登録。活動内容に応じて環境ポイントを付与。活動のインセンティブとして、ポイントをランキング付けした上で表彰等を行う。

活動  
イメージ



# マテリアルバランス

事業活動(教育・研究・診療)に伴って発生する環境負荷を正しく把握し、その削減活動を進めるために、どのくらいの資源・エネルギーを使用し、どのような環境負荷が発生しているのかについて、データを集計・分析し、環境負荷の軽減に努めている。



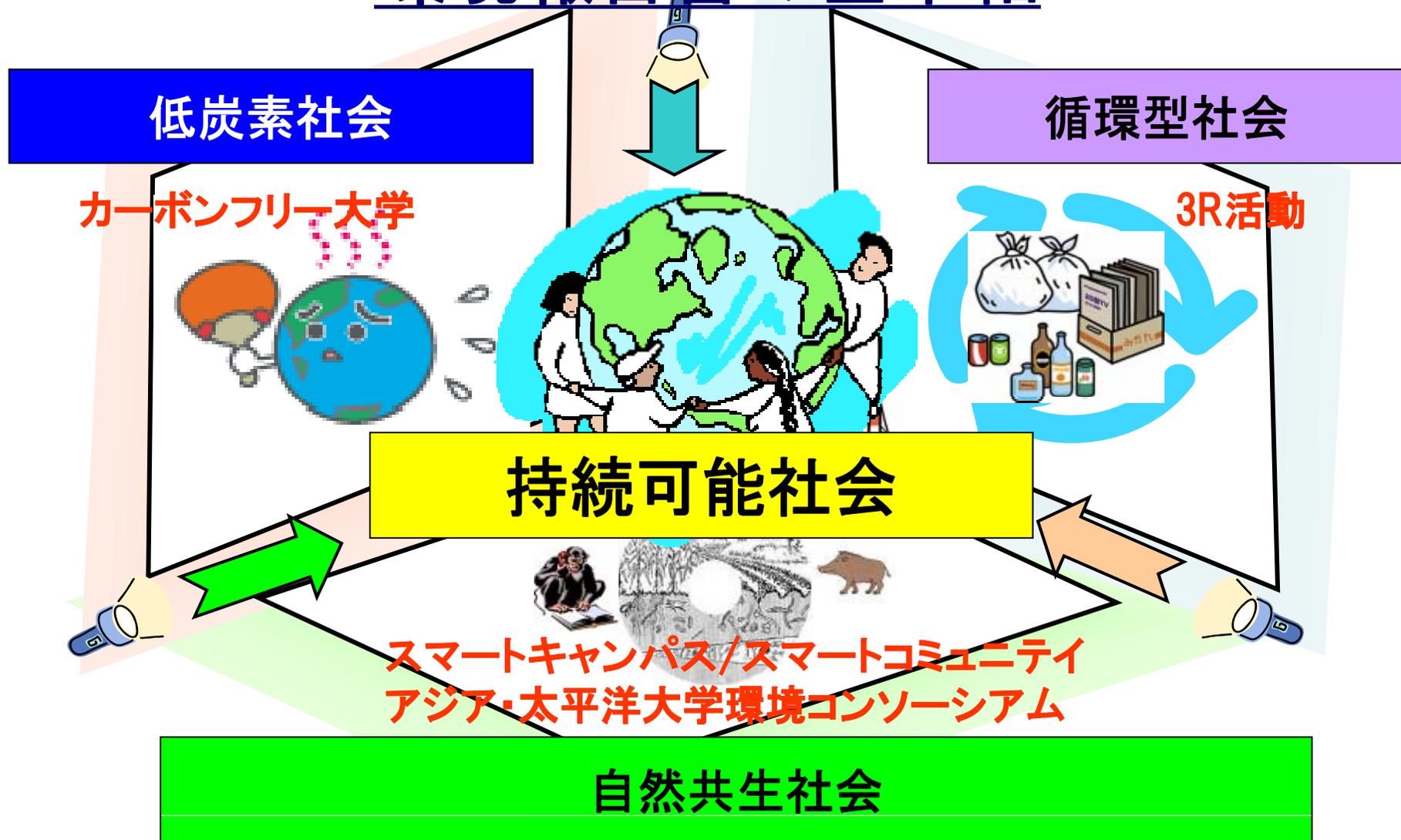
## INPUT



## OUTPUT

<b>●温室効果ガス排出量</b> CO <sub>2</sub> 21,780 t NO <sub>x</sub> 16,735 kg SO <sub>x</sub> 16,744 kg メタン 348 kg 一酸化二窒素 6.1 kg	<b>●廃棄物等排出量</b> 可燃物 354.100 kg 不燃物 32,310 kg 産業廃棄物 1,071,200 kg 古紙類 169,600 kg 感染性廃棄物 156,294 kg	<b>●実験廃液</b> 水銀廃液 36.7 ℓ 重金属系廃液 1309 ℓ 難燃性廃液 1060.2 ℓ 可燃性廃液 9274.1 ℓ 写真定着液 268.8 ℓ 有害固型廃棄物 63.4 kg その他(廃アルカリ等)1910.1 ℓ
<b>●河川(海)</b> 排水量 462,399 m <sup>3</sup> COD 6,067 kg T-P 762 kg T-N 6,920 kg		

# 世界一環境先進大学三重大学の 環境報告書の基本軸



COP10 in 三重；生物多様性保全